

中山かんのん

恩林寺

中山中学下、電話三四―一二四五

出で行いくおしょうさんと
ともだちになろう業ごう（その二）強情。強盛

あの人はゴウジョウだ。ゴウジョウツパリだ。という表現があります。

自分を正当化して、他を受け入れない人を評している言葉ですね。ゴウジョウとは「強情」とか「強盛」に聞こえます。強情とはかたくなに意地をはること「強盛」は欲の心が強くさかんなことですね。三毒強盛とは、貧（怒り）瞋（むさぼり）痴（愚痴）、三毒がさかんで欲張りの塊になっていることです。

強情、強盛のどちらのゴウジョウも、そんな風になることはよい事ではありません。強情（強盛）な人は相手に不快な思いをさせるばかりで無く自分も孤独になって寂しい思いをいたします。

「何かのことで人と言い争いをした。相手を言い負かしたものの、あとでも寂しい思いをした。その後、その人とは口もきかなくなり、友達を失った、、、。そんな経験をお持ちの方はあんがいおおいのではないでしようか？

私たちはみんな自分が正しいと思いきんでおります。その反動で、相手が悪いと決め付けてしまい自分をえこひいきするように出来ています。（こ

れも業というものでしょうか？）

そうしなければ自信ももてずやる気も沸かず、自分を情けなく思うだけからでしょう。自分が正しいと思うことは生きることの原動力になります。しかし強情の域に踏み込むことは避けましょう。過ぎたるは及ばざるが如し。です。

山の動物たち、鳥たち、海や川の魚たちは群れをなして生きています。弱い生き物が群れから離れると敵に狙われやすく食べ物にありつくことも出来ないでしょう。人間も同じことです。群れることは人間で言えば社会を構成して生きることです。強情な人は家族、友人をはじめとするもろもろの社会から締め出しされることになりかねません。自分を主張するあまり、自分を守ってくれている社会からはぐれることのないよう、心して生きたいものです。

座禅をしましょう。

恩林寺では、禅寺として座禅が出来るよう、単（座禅の席）を準備いたしました。

坐禅会の日取りなど決まりましたら改めてご案内いたします。